

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

<p>学会名</p>	<p>Plant Biology 2017</p>
<p>演題名</p>	<p>Spatio-temporal analysis of gene expression and phytohormones during tissue-reunion in incised Arabidopsis flowering stem using laser micro-dissection.</p>
<p>発表者</p>	<p>Miyuki Nakanowatari [1]※, Kazuki Yamada [2]※, Keita Matuoka [2], Emi Yumoto [2], Takao Yokota [2], Hisakazu Yamane [2], Shinobu Satoh [3], ○Masashi Asahina [1],[2]. (植物生理学研究室)</p> <p>[1]: Grad. Sch. Sci. & Eng., Teikyo Univ. [2]: Dept. Biosci, Teikyo Univ. [3]: Life & Environ Sci., Univ. Tsukuba.</p>
<p>内容</p>	<p>ハワイコンベンションセンターにて開催されたPlant Biology2017（アメリカ植物生理学会）にて、本学・植物生理学研究室が筑波大学との共同で進めている、植物切断組織の癒合に関わる転写因子と植物ホルモンの機能に関する研究について、最新の研究成果を交えて発表を行った。特にレーザーマイクロダイセクションを利用した植物ホルモンの微量定量分析は、多くの研究者から高い評価を受けた。</p> <p>以上の研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、科学研究費補助金「切断組織の再生を制御する植物ホルモンと遺伝子の時空間的制御」による支援を受けて行ったものである。</p>
	<p>学会会場の様子</p>  